

# アメリカ史研究におけるデジタル情報資源 の現在

## Digital Resources for American History

小田悠生  
ODA Yuki

### 1. はじめに

2014年、米国立公文書館は中期計画の中で、“Make Access Happen”を第一の目標とし、「誰もがNARAの所蔵資料を検索し、発見し、そこから学ぶことのできるように、全ての資料を電子媒体で公共に提供」することを最優先課題に位置付けた。さらに2017年には、2024年までに5億ページをオンライン公開するという目標を設定した<sup>1</sup>。そして検索結果改善のためのキーワード・タグ付けや手書き資料を全文検索できるようにするための文字起こしを一般市民が行うという“Citizen Archivist”プログラムを考案し、目標達成に向かっている<sup>2</sup>。

近年、日本で著されたアメリカ研究案内も、こうしたデジタル情報資源の増加を反映している。2003年出版の『アメリカ研究入門 第3版』が1980年出版の第2版と大きく異なった点は、「電子媒体による資料調査」という章の新設であった。2009年出版の『アメリカ史研究入門』も、オンライン情報に関する章を設けている<sup>3</sup>。本稿では、まず2000年代から2010年代のデジタル化の潮流について概観し、次節以降では2018年現在の日本で入手可能な情報資源を検討する。

所蔵資料の電子化に最も早くから取り組んできた図書館の一つが、議会図書館である。1990年、議会図書館はNational Digital Libraryの創設を掲げ、5年間の試行期間を経て1995年にAmerican Memoryプロジェクトが本格的に始動した。特定の資料を探し求める利用者だけでなく、サイトを散策す

る利用者が楽しみながら資料に巡り会うことを重視しており、工夫されたインターフェースとともに多くの図像が収録された<sup>4</sup>。手稿やテキストを多く含むコレクションのなかでは、大統領文書の電子化が早くから進められ、既にマイクロフィルムが作成されていたワシントン、ジェファソン、マディソン、リンカン文書の電子化が1998年から2005年にかけて完了し、2010年から残る20代の大統領文書の電子化作業が進められている<sup>5</sup>。さらに2007年、貴重図書の電子化に向けて“Digitizing American Imprints”プロジェクトを開始した。貴重図書は一定角度以上にページを開けば壊れるおそれがあり、撮影には莫大な手間と費用を要するため障壁が高かったのであるが、自動ページめくり機能を含む迅速かつ鮮明な撮影装置の開発、画像ファイルにメタデータを付すソフトウェアの進歩は目覚ましく、プロジェクト開始の2年後には早くも2万5千冊が電子化された<sup>6</sup>。デジタル化の対象も大きく広がったのである。

デジタル化の促進に民間団体は大きな役割を果たしてきた。議会図書館のプロジェクトはスローン財団からの寄付金によるものであるし、その一室で電子化作業を行っているのは1996年にサンフランシスコで設立されたNPO インターネット・アーカイブのスタッフである。インターネット・アーカイブは、その名の通り、様々なウェブページを保存することが設立当初の目的であったが、2002年に書籍や様々なアナログ資料の電子化を始めた。各地の図書館から送られてきた資料を保有施設や提携施設で電子化する作業を請け負うとともに、デジタル資料を閲覧・ダウンロードできるサイトを開設した。資料を電子化する設備・人員やウェブサイトを自前で維持するだけの予算を持たない図書館や個人でも、所蔵資料をウェブ上で共有することを容易にしたのである<sup>7</sup>。

2004年末、グーグル社が米英の5大図書館と共同して開始したグーグル・プリント（現グーグル・ブックス）によって、大学図書館の蔵書の電子化が急速に進んだ。著作権の保護期間内の書籍も対象としたため大きな論議を呼んだものの、フェアユースであるとして2015年に勝訴している。同プロジェクトによって電子化された蔵書の共同レポジトリとして、2008年に全米数十の大学が設立したのがハチトラスト（HathiTrust）である<sup>8</sup>。現在、ハチ

トラスト・デジタル上には、会員図書館のみが閲覧できる著作権保護対象の文献と、誰もが利用できるオープンアクセスの文献の双方が含まれており、準オープンアクセスのリソースとして利用されている。2016年には、日本の国立情報学研究所が運営するCiNii Booksと連携され、後者からも保護対象外の文献の検索・閲覧ができるようになった。

2013年にハーバード大学や国立公文書館が中心となり設立した米国デジタル公共図書館(Digital Public Library of America)は、同一サイト上で、多数の図書館の所蔵資料を横断検索するだけでなく、個々の資料までも閲覧できるという革新を一層進めた。それぞれが20万点以上の資料をDPLAで公開している17のコンテンツ・ハブ機関と、州や地方の図書館を取りまとめる役割を担うサービス・ハブ機関を中心としたネットワークを形成しており、前者には議会図書館やニューヨーク公共図書館も含まれる。究極的な目標は、アメリカの図書館・史料館が保有する全てのデジタル資料を一括検索・閲覧できるサイトである<sup>9</sup>。

非営利サイトの発展と並行して商業データベースも急増した。2009年にGale - Cengage Learning社が開始したArchives Unboundシリーズ、ProQuest社のHistory Vaultシリーズ(2011年～)や、Adam Matthew Digital社、Alexander Street社、EBSCO社、Readex社などによるデータベースが代表的である。当初はマイクロフィルムとして販売されていた商品の電子化が中心であったが、新たに電子化された史料を収録するものも増えてきた。特定テーマのもとに複数のアーカイブの所蔵資料を編纂したコレクションも多い。

様々な場所で増加の一途をたどるデジタル資料を把握しようとする試みも続けられており、2002年にミシガン大学が開発したOAIsterデータベースは、メタデータの自動収集によって、デジタル化された資料とそれらが収録されている様々なサイトをカタログ化するプログラムである。2009年、同データベースは、1960年代から全米の図書館が所蔵する書籍や史料コレクションの目録情報を提供してきたWorldCat(OCLC)データベースに統合され、アナログ資料とデジタル資料の一括検索が可能となっている<sup>10</sup>。また、ここ10年でOCLCが提供する各種データベースは無料化が進んでいる。次

節では、本節で言及した主要な図書館・文書館や総合データベースを案内していきたい。

## 2. 主要図書館・文書館と総合データベース

ArchiveGrid (Open Computer Library Center, OCLC)

<https://beta.worldcat.org/archivegrid/>

世界の図書館・文書館のアーカイブコレクションの目録が検索できる。WorldCat からアーカイブコレクションに特化したもの。

Digital Libraries by State or Region (プリンストン大学)

<https://www.princetonlibrary.org/explore/research/genealogy/#state>

州や地方のデジタルアーカイブへのリンク集。

Digital Public Library of America (米国デジタル公共図書館)

<https://dp.la/>

Discovering American Women's History (ミドルテネシー州立大学)

<http://digital.mtsu.edu/cdm/landingpage/collection/women>

全米の図書館が所蔵する、アメリカの女性史に関する 700 以上のデジタル資料コレクションを検索できるポータルサイト。

HathiTrust Digital Library (ハチトラスト)

<https://www.hathitrust.org/>

Internet Archive (インターネット・アーカイブ)

<https://archive.org/>

Library and Archival Exhibitions on the Web (スミソニアン協会)

<http://www.sil.si.edu/SILPublications/Online-Exhibitions/>

様々な図書館が自館の所蔵資料をキュレーションしたオンライン展示を検索できる。

## Library of Congress (議会図書館)

<https://loc.gov/collections>

長らく同館のデジタルコレクションの中核であった American Memories (<https://memory.loc.gov/ammem/index.html>) は、上記サイトへの統合が進められている。所蔵資料の電子化に加えて、様々な商業データベースを利用者に提供することも重視しており、訪米時には日本の研究機関では未契約のデータベースの利用先としても活用できる。

## Library and Archival Exhibitions on the Web (スミソニアン協会)

<http://www.sil.si.edu/SILPublications/Online-Exhibitions/>

様々な図書館が自館の所蔵資料をキュレーションしたオンライン展示を検索できる。

## National Archives and Records Administration (国立公文書館)

<https://www.archives.gov/>

検索システム ARC の改善が進み、資料目録のデータベース化、資料自体のデジタル化が急速に進んでいる。大統領図書館を含む全館資料の一括検索や記録グループによる検索が可能。

## New York Public Library (ニューヨーク公共図書館)

<https://digitalcollections.nypl.org/>

多くの資料をオンラインで公開していることに加え、パブリックドメインに属する資料の絞り込み検索が可能であり、出版物への図版利用などに役立つ。議会図書館同様に、館内では多くの商業データベースが利用可能である。

## OAIster (OCLC)

<https://www.oclc.org/en/oaister.html>

## State Digital Resources: Memory Projects, Online Encyclopedias, Historical and Cultural Materials Collections. (議会図書館)

<https://www.loc.gov/rr/program/bib/statememory/>

州のデジタルアーカイブポータルへのリンク集。

## WorldCat (OCLC)

<https://www.worldcat.org/>

上記はデジタル資料への窓口となるサイト、教育・研究目的での資料収集の第一歩となるサイトであるが、目的によって使い分けが必要である。インターネット・アーカイブやハチトラストは検索に特化しているのに対して、DPLA では専門家が選定した資料をオンライン展示として見せる機能も備えている。たとえば教材を集めるため、狭義での専門でない分野・時代の図像を探す場合には、後者やスミソニアン協会によるオンライン展示データベースが用いやすい。

より狭義での研究の場合、デジタル情報資源が増加しても、まず先行研究が用いている資料を検討するという手順は変わらない。その際、各地に複数のコピーが存在する印刷物であるか、アーカイブコレクションの資料であるかによって窓口は異なる。前者の場合、少し前には入手できなかった文献がウェブで公開されていることも珍しくない。WorldCat（デジタル資料を検索する OAIster 機能を有効にして用いる）は書籍に準ずる印刷物から電子化された資料の検索に強い。もっとも全てを網羅しているわけではないため、HathiTrust などの総合データベースもあわせて定期的に検索することが重要となる。

アーカイブコレクションの場合、ArchiveGrid などによって所蔵館を特定し、図書館ホームページやアーキビストとのやりとりを通じてデジタル化の現状や将来計画を確認し、調査計画を立てることとなるだろう。また、ArchiveGrid では、所蔵コレクション情報とともに各地のアーカイブがマッピングされているため、近隣で関連コレクションを保有する他のアーカイブを探ることもできる。インターネット・アーカイブや DPLA は手稿も含めた一枚一枚のデジタル資料まで検索する機能に優れているが、膨大な件数がヒットすることもあるため、網の広さを適切に調整することが重要であり、まずは研究対象である地方や州の資料を集めたデータベースでの検索から始めるといった工夫も必要である。こうした適切な検索条件を設定した能動的渉猟とともに、ウェブならではの遭遇もある。たとえばインターネット・アーカイブでは、ある資料を閲覧すると、ファイルに付されたメタデータに基づいて、関連性の高い別の資料を推薦する機能も備えており、新たな資料群やアーカイブへの道しるべとなる場合もある。

### 3. 分野別・時代別ガイド

本節では、分野別・時代別にデジタル情報資源を紹介する。執筆にあたっては議会図書館、イェール大学、カリフォルニア大学バークレー校、コーネル大学、コロンビア大学、シカゴ大学、スタンフォード大学、テキサス大学、ノースカロライナ大学、ハーバード大学の各図書館が作成したリサーチガイドを参照した<sup>11</sup>。なお、JSTORのような電子ジャーナルデータベースは除外し、一次資料を収録したデータベースと書誌データベースを取り上げている。

さらに、日本からのアクセスに重点を置き、無料のデータベース、国内の研究機関が契約済みの商業データベースを中心とした。商業データベースの国内導入状況については、日本図書館協会の2016年度統計に基づき、図書館費総額が大きい国公立大学10校、私立大9校と南山大学の計20校を調査対象とし、本稿執筆の2018年1月末日時点で、1～2校で導入されているものには\*印を、3校以上で導入されているものには\*\*印を付した<sup>12</sup>。ただし、学外者による図書館利用規定は大学によって異なるため利用を保証するものではない。2011年に発足した大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）は、包括契約を通して会員図書館がより安価に電子情報資源を利用できる仕組みであるが、アメリカ研究関連データベースの採択数は限られている。より多くの研究機関でのデジタル情報資源へのアクセスを可能とするため、アメリカ研究に携わる諸学会による働きかけといった取り組みを続けていくことも必要であろう<sup>13</sup>。

データベース名に続く（ ）は提供機関や出版社名である<sup>14</sup>。アドレスを付記しているものが、無料データベースである。また、日本国内ではなく訪米時にデータベースを利用する場合の参考として、< >内にボストン公共図書館<BPL>、ロサンゼルス公共図書館<LAPL>、議会図書館<LC>、国立公文書館<NARA>、ニューヨーク公共図書館<NYPL>で利用可能であることを示している。説明に「書誌」や「タイトルを収録」といった特記をしていない限り、全文・画像・映像・音声を閲覧・視聴できる。

### 《書誌・書籍》

America History and Life (EBSCO) \* <LC, NARA, NYPL>

先史時代から現在にいたるまでのアメリカとカナダの歴史と文化に関する文献データベース。

American National Biography Online (Oxford) \* <LC, NYPL>

アメリカの重要人物人名録。関連する一次資料コレクションや二次文献についての情報も含まれている。

The Bibliography of Slavery and World Slaving (ヴァージニア大学)

<http://www2.vcdh.virginia.edu/bib/search.php>

世界の奴隷制についての文献から学会報告まで 25,000 件の情報を収録。

Catalog of U.S. Government Publications

<https://catalog.gpo.gov/>

GPO が出版した刊行物のカタログ。将来は 19 世紀まで遡って検索可能となる予定であり、一部は全文閲覧可能。

The Making of Modern Law: Legal Treaties 1800-1926 (Gale) \*\*

ハーバード大学ロースクール所蔵図書を中心に、19 世紀から 20 世紀初頭の法学の重要文献を約 21,000 タイトル収録。

The Making of the Modern World (Gale) \*\* <BPL, LC>

経済学・経済史・経営史・社会思想史といった分野の書籍や定期刊行物を、MOMW-I では 15 世紀半ばから 1850 年まで、MoMW-II ではそれ以降を収録。JUSTICE 採択。

Race Relations Abstract (EBSCO) \*

1903 年以降に出版された人種関係に関する研究の書誌情報データベース。

Sabin Americana, 1500-1926 (Gale) \* <LC, NYPL>

1500 年から 1926 年までに南北アメリカで刊行された書籍に関する書誌 *Bibliotheca Americana* に掲載された書籍 42,000 タイトルの全文を収録。

《新聞・雑誌・定期刊行物》

African American Newspapers, Series 1, 1827-1998 (Readex) \* <LC, NYPL>  
アフリカ系アメリカ人によって発行された新聞 280 紙を収録。

African American Periodicals, 1825-1925 (Readex) \* <LC, NYPL>  
アフリカ系アメリカ人に関する 170 タイトルの刊行物を収録。

American Periodicals (ProQuest) \* <NYPL>  
18 世紀から 20 世紀初頭までに出版された約 1,100 誌を収録。

California Digital Newspaper Collection (カリフォルニア大学リバーサイド校)  
<https://cdnc.ucr.edu/cgi-bin/cdnc>  
カリフォルニア州で 1846 年から 1922 年に発行された主要新聞を収録。

Chronicling America (議会図書館)  
<https://chroniclingamerica.loc.gov/>  
1789 年から 1949 年までに全米各地で発行された新聞約 2,500 紙を収録。

Entertainment Industry Magazine Archive (ProQuest) \* <NYPL>  
映画、音楽、演劇など米英の娯楽産業に関する雑誌を創刊号から  
2000 年まで収録。

Ethnic American Newspapers from the Balch Collection, 1799-1971  
(Readex) \* <NYPL>  
10 ヶ国語で書かれた新聞約 130 紙を収録。

Harpers' Weekly Online (Alexander Street Press) \* <NYPL>  
1857 年の創刊から 1912 年までの *Harpers's Weekly* を収録。同誌は  
Internet Archive でも入手可能。

Hoji Shinbun Digital Collection: The Japanese Diaspora Initiative (フーバー  
研究所)  
<https://hojishinbun.hoover.org/>  
北米とハワイで発行された邦字新聞 71 紙を収録。

Independent Voices: An Open Access Collection of an Alternative Press  
(Reveal Digital)

<http://voices.revealdigital.com>

反戦運動、学生運動、ブラックパワーなど、20世紀後半の独立系プレスの刊行物 1,000 誌以上を収録。

Japanese-American Relocation Camp Newspapers: Perspectives on Day-to-Day Life (Gale-AU) \* <LAPL, LC>

日系アメリカ人収容所で発行された新聞を収録。議会図書館所蔵資料。

Japanese-American Internment Camp Newspapers, 1942 to 1946 (議会図書館)  
<https://www.loc.gov/collections/japanese-american-internment-camp-newspapers/>

日系アメリカ人収容所で発行された新聞約 4,600 点を収録。

Lantern (Media History Digital Library・ウイスコンシン大学マディソン校)

<http://mediahistoryproject.org/>

映画、テレビ、ラジオなどに関する雑誌や書籍を収録。

Music Periodicals Database (ProQuest) \*

*Billboard* 誌や *Rolling Stone* 誌をはじめ、20ヶ国以上の音楽雑誌の記事タイトルの索引。

National Geographic Virtual Library (Gale) \* <BPL, LC>

1888年の創刊以来の *National Geographic* 誌を収録。JUSTICE 採択。同誌購読により閲覧可能。

Nineteenth Century U.S. Newspapers (Gale) \* <BPL, LC, NYPL>

19世紀に発行された約200紙を収録しており、地方紙が多く含まれる。

Historical Newspapers (ProQuest) \* <BPL, LC, LAPL, NYPL>

*New York Times* といった大手新聞ほか 45 紙を創刊号から収録。タイトルごとの契約であるため日本の研究機関では *New York Times* や *Los Angeles Times*, *Washington Post* が主である。

Regional Business News (EBSCO)\*\* <NYPL>

1969年以降に出版された、大都市圏と地方都市の経済紙・経済誌を約75誌収録。

New York State Historic Newspapers (Northern New York Library Network)

<http://nyshistoricnewspapers.org/>

1803年から2011年までにニューヨーク州で発行された地方紙を収録。

### 《映像》

American Archive of Public Broadcasting (議会図書館・WGBH Educational Foundation)

<http://americanarchive.org/>

1950年代以降のテレビ番組やラジオ番組を収録。

American Silent Feature Film Database (議会図書館)

<https://memory.loc.gov/diglib/ihas/html/silentfilms/silentfilms-home.html>

1912年から1929年までに制作されたサイレント映画、約3,300本の情報を収録。

The March of Time (Alexander Street Press)\*

1935年から1967年までにタイム社が制作したニュース映画「The March of Time」400本以上を収録。

TV News Archive (インターネット・アーカイブ)

<https://archive.org/details/tv>

2009年以降のニュース番組を収録。

### 《統計と地図》

Atlas of the Historical Geography of the United States (リッチモンド大学)

<https://dsl.richmond.edu/historicalatlas/>

1932年に出版された同名の書籍に掲載された地図700枚をデジタル化し、現在の地図に重ね合わせられるための補正が施されている。

Historical Statistics of the United States, Colonial Times to 1970 Millennial Ed. (Cambridge) \* <NYPL>

データセット化されたアメリカの歴史統計。

Statistical Abstract of the United States (Census Bureau)

[https://www.census.gov/library/publications/time-series/statistical\\_abstracts.html](https://www.census.gov/library/publications/time-series/statistical_abstracts.html)

1880年代から2012年までのセンサス総覧が閲覧可能。

Census of Population and Housing, 1790-1950 (ミシガン大学 Inter-university Consortium for Political and Social Research)

<https://www.icpsr.umich.edu/icpsrweb/ICPSR/series/00180>

1790年から1950年までのセンサスを、データセットとしてダウンロードできる。

Data.gov

<https://www.data.gov/>

合衆国政府が公開している各種データの総合サイト。

David Rumsey Map Collection (Cartography Associates)

<https://www.davidrumsey.com/>

現在の地図から、同地点で作成された歴史的地図を閲覧できる。

National Historical Geographic Information System (ミネソタ大学 Population Center)

<https://www.nhgis.org/>

1790年以降のセンサスデータを地図上に表示できる地理情報システム (GIS)。

Sanborn Fire Insurance Maps (議会図書館)

<https://www.loc.gov/rr/geogmap/sanborn/>

1866年以降、Sanborn 地図社が製作した地図を約 4,000 枚収録。

《連邦政府》

American Presidency Project (カリフォルニア大学サンタバーバラ校)

<http://www.presidency.ucsb.edu/index.php>

歴代大統領の演説や公文書をはじめ、20世紀半ば以降の選挙に関する資料も収録。

大統領図書館

<https://www.archives.gov/presidential-libraries>

13の大統領図書館における資料の電子化状況は各館で大きく異なる。ケネディライブラリーでは大部分の資料がオンライン公開されている一方、フーバーライブラリーでは目録が閲覧できるに留まっている。

Biographical Directory of the United States Congress (Government Publishing Office)

<http://bioguide.congress.gov/biosearch/biosearch.asp>

連邦議会議員の人名録。資料コレクションや二次文献の案内も含まれている。

A Century of Lawmaking for a New Nation (議会図書館)

<https://memory.loc.gov/ammem/amlaw/lawhome.html>

大陸会議から第43議会(1875年)までの記録を収録。

Gov.info (Government Publishing Office)

<https://www.govinfo.gov/>

第43議会(1873年)から第111議会(2009年)までの本会議議事録、第99議会(1985年)以降の公聴会記録、第104議会(1995年)以降の委員会報告書などを収録。

Congress.gov (議会図書館)

<https://congress.gov/>

第101議会(1989年)以降の本会議議事録、第104議会(1995年)以降の委員会報告書などを収録。

ProQuest Congressional (ProQuest) \*\* <LC, NYPL>

各種委員会・小委員会等の公聴会議事録や報告書を収録。契約内容

によって収録年代は異なる。

Foreign Relations of the United States (ウイスコンシン大学マディソン校・イリノイ大学シカゴ校)

<https://uwdc.library.wisc.edu/collections/frus/>

1861年から1960年までに国務省が刊行した *Foreign Relations of the United States* を収録。

Historical Documents, Office of the Historian, Department of State (国務省)

<https://history.state.gov/historicaldocuments>

アイゼンハワーからレーガン政権期までに国務省が刊行した *Foreign Relations of the United States* を収録。

主な省・機関がHP上に設けている機密解除文書の全文データベース

Central Intelligence Agency, CREST (中央情報局)

<https://www.cia.gov/library/readingroom/collection/crest-25-year-program-archive>

Department of Defense, Reading Room (国防省)

<http://www.esd.whs.mil/FOIA/Reading-Room/Reading-Room-List/>

Department of Justice (司法省)

<https://www.justice.gov/oip/available-documents-all-doj-components>

Federal Bureau of Investigation, Vault (連邦捜査局)

<https://vault.fbi.gov/>

National Security Archive, Virtual Reading Room (National Security Archive)

<https://nsarchive.gwu.edu/virtual-reading-room>

ジョージ・ワシントン大学(ワシントンDC)内に拠点を置く研究所であるアメリカ国家安全保障アーカイブが、30年にわたり情報公開法に基づいて公開請求した外交文書の一部が閲覧可能。

U.S. Declassified Documents Online (Gale)\*\*

様々な機関が機密解除した文書を横断検索・閲覧できるデータベース。一定年数経過後の自動開示ではなく、情報公開法に基づく開示請求によって公開された文書を多く含む。

《初期アメリカ》

American Antiquarian Society (AAS) Historical Periodicals Collection (EBSCO) \*

1684 年から 1912 年までに北米で刊行された 8,000 以上の雑誌収録。  
アメリカ古物協会所蔵資料。

American Broad­sides and Ephemera, Series I, Digital Edition 1760-1900

(Readex) \* <NYPL>

18 世紀から 19 世紀のポスター、ビラをはじめとした小印刷物を収録。

Colonial North America at Harvard Library (ハーバード大学)

<http://colonialnorthamerica.library.harvard.edu/spotlight/cna>

17 世紀と 18 世紀のアメリカに関してハーバード大学が所有する全文  
献や資料 47 万ページの公開が進められており、現時点では 30 万ペー  
ジが閲覧可能。

Early American Imprints, Series I: Evans, 1639-1800 (Readex) \* <LC, NYPL>

チャールズ・エヴァンス等が編纂した、アメリカ古物協会が所蔵す  
る出版物の目録 *American Bibliography* をもとに、掲載されている文献  
の全文収録。

Early American Newspapers, Series 1, 1690-1876: From Colonies to Nation

(Readex) \* <NYPL>

17 世紀末から 19 世紀後半までに全米各地で刊行された新聞を収録。

Early English Books Online (ProQuest) \*\* <LC, NYPL>

1473 年から 1700 年までに英国または英語で出版された書籍を収録。  
北米植民地についての資料も含まれている。JUSTICE 採択。

Early European Books Online (ProQuest) \*\*

15 世紀後半から 18 世紀初頭にかけてヨーロッパ各地で出版された書  
籍を収録。Series 3 には新世界に関する記録も含まれている。

Eighteenth Century Collections Online (Gale) \*\* <BPL, LC, NYPL>

18 世紀に英国や植民地または英語で出版された様々な印刷物を収  
録。JUSTICE 採択。

European Views of the Americas (EBSCO) \*

1493年から1750年におけるアメリカの歴史をヨーロッパ人が記した文献をまとめた *European Americana: A Chronological Guide to Works Printed in Europe Relating to The Americas, 1493-1750* に掲載された書籍の全文を収録。

Founding Fathers Project (NARA)

<https://founders.archives.gov/>

ワシントン、フランクリン、アダムズ、ジェファソン、ハミルトン、マディソンが残した書簡や文書、18万点の全文データベース。

A New Nation Votes (タフツ大学、アメリカ古物協会)

<https://elections.lib.tufts.edu/>

1787年から1825年までの選挙における開票結果のデータベース。

Rotunda: American Founding Era (ヴァージニア大学)

<http://rotunda.upress.virginia.edu/founders/FGEA.html>

ワシントン、アダムズ家、ジェファソン、マディソン家の文書や、憲法制定会議に関する資料を収録。

The Trans-Atlantic Slave Trade Database (エモリー大学)

<http://www.slavevoyages.org/>

36,000の奴隷船の記録と約91,000人の奴隷の名前が登録されたデータベース。

《19世紀》<sup>15</sup>

Empire Online (Adam Matthew Digital) \* <LC>

「帝国」をキーワードに15世紀から現代までの資料を収録しており、アメリカの帝国主義に関するものも含まれている。

Nineteenth Century Collections Online (Gale) <BPL, LC, NYPL>

フランス革命から第一次世界大戦までの資料を取めた全12シリーズから成り、東アジア関係に関する Archive 2、科学・技術史に関する7、9、宗教に関する12にアメリカ関係の資料が多い。

Making of America (ミシガン大学)

<https://quod.lib.umich.edu/m/moa/>

Making of America (コーネル大学)

<http://ebooks.library.cornell.edu/m/moa/>

ミシガン大学とコーネル大学による共同プロジェクト。アンテベラムから再建期までの社会史に関する資料を収録。

North American Slave Narratives (ノースカロライナ大学チャペルヒル校)

<http://docsouth.unc.edu/neh/>

1920年までに出版された全ての奴隷体験記を収録。

American History 1493-1945: Module II Civil War, Reconstruction and the Modern Era, 1860-1945 (Adam Matthew Digital) \* <LC>

Gilder Lehman Institute (ニューヨーク市)の所蔵資料。国内での契約が確認されている Module II には、1860年大統領選挙から第二次世界大戦終戦まで収録。

The Collected Works of Abraham Lincoln (ミシガン大学)

<https://quod.lib.umich.edu/l/lincoln/>

1953年にリンカン協会が出版した同題のリンカン著作集を注とともに収録。

Reconstruction of Southern States (Accessible Archives)

<http://www.accessible-archives.com/collections/reconstruction-of-southern-states>

再建期の南部に関する資料を収録。

Global Missions and Theology (Gale-AU) \*

19世紀アメリカと海外における伝道活動についての文書資料収録。

Shaping the Values of Youth: Sunday School Books in 19th Century America (ミシガン州立大学)

<http://digital.lib.msu.edu/projects/ssb/index.cfm>

19世紀の日曜学校で用いられた教科書を収録。

The Chinese Recorder and the Protestant Missionary Community in China, 1867-1941 (Gale-AU) \*

中国におけるプロテスタント宣教師による宣教活動についての資料収録。

Smithsonian Collections Online: World's Fairs and Expositions (Gale) \*  
<LC, NYPL>

万博や博覧会に関する資料を収録。スミソニアン協会所蔵資料。

### 《20世紀》<sup>16</sup>

Home Economics Archive (コーネル大学)

<http://hearth.library.cornell.edu/>

ホームエコノミクス運動に関連する書籍約 1,200 タイトル、雑誌 16 誌を収録。

Hollywood, Moral Censorship, and the Motion Picture Production Code, 1927-1968 (GALE-UA) \*

映画産業における規制の歴史についての資料を収録。

The Living New Deal (カリフォルニア大学バークリー校)

<https://livingnewdeal.org/>

ニューディールの公共事業をマッピングしたデータベースであり、約 14,000 地点が登録されている。種類・事業局・場所などによって検索可能。

LGBTQ History and Culture Since 1940 (Gale, Archives of Sexuality) \*  
<LAPL, LC, NYPL>

1940年代から21世紀まで、アメリカをはじめ世界のLGBTの権利運動団体の資料などを収録。

Final Accountability Rosters of Japanese-American Relocation (Gale-AU) \*  
<LAPL, NARA>

日系アメリカ人収容所収容者名簿。議会図書館所蔵資料。

Personal Justice Denied: Public Hearings of the Commission on Wartime Relocation and Internment (Gale-AU) \* <LAPL>

1980年に設置された「戦時中の強制収容と抑留に関する委員会」による公聴会での750人以上の証言や資料収録。議会図書館所蔵資料。

State Department's Bureau of Intelligence and Research Reports, 1941-1947 (Gale-AU) \*

国務省による諜報や調査レポート。中国と日本に関する2シリーズの契約確認。NARA所蔵資料。

Foreign Broadcast Information Service, Daily Reports, 1941-1996 (Readex) \* <LC>

CIAの一部門、外国放送情報部(FBIS)が英訳した世界各地の報道を収録。

米国収集全文デジタルデータ検索(沖縄県公文書館)

<http://www2.archives.pref.okinawa.jp/Scripts/degitalarc/nara/degitalarc.cgi>

沖縄県公文書館が収集した、沖縄統治に関するアメリカ政府の文書収録。NARA所蔵資料。

The International Women's Movement: The Pan Pacific Southeast Asia Women's Association of the USA, 1950-1985 (Gale-AU) \*

米国汎太平洋東南アジア婦人協会の文書を収録した、国際的な女性運動に関するデータベース。スミス大学所蔵資料。

Digital National Security Archive (ProQuest) \*\* <LC, NARA, NYPL>

アメリカ国家安全保障アーカイブが公開請求した機密文書をテーマ・地域別に整理した48コレクションから成る。

The Chinese Civil War and U.S.-China Relations: Records of the U.S. State Department's Office of Chinese Affairs, 1945-1955 (Gale-AU) \*

国務省中国課の文書を収録した、中国革命と米中関係に関するデータベース。NARA所蔵資料。

U.S. Relations and Policies in Southeast Asia, 1944-1958: Records of the Office of Southeast Asian Affairs (Gale-AU) \*

国務省東南アジア課の文書を収録した、東南アジア政策に関するデータベース。NARA 所蔵資料。

Indochina, France, and the Viet Minh War, 1945-1954: Records of the U.S. State Department, Part 1: 1945-1949 (Gale-AU) \*

国務省資料を中心に、インドシナ情勢についての政府文書や個人文書を収録。NARA 所蔵資料。

U.S. Civilian Advisory Effort in Vietnam: U.S. Operations Mission, 1950-1954 (Gale-AU) \*

第一次インドシナ戦争期の、ベトナムへの経済・技術支援などに関する記録を収録。NARA 所蔵資料。

Vietnam War and American Foreign Policy, 1960-1975 (ProQuest-HV)

ベトナム戦争期の外交政策に関する資料収録。NARA・ケネディ大統領図書館・ジョンソン大統領図書館などの所蔵資料。

The Observer: News for the American Soldier in Vietnam, 1962-1973 (Gale-AU) \* <LC>

南ベトナム軍事援助司令部情報局が発行した週間紙 *Observer* を収録。

Ambassador Graham Martin and the Saigon Embassy's Back Channel Communication Files, 1963-1975 (Gale-AU) \* <NARA >

サイゴンのアメリカ大使館と国家安全保障担当補佐官との通信を中心に収録。NARA 所蔵資料。

American Politics and Society from JFK to Watergate, 1960-1975: Records from the Kennedy, Johnson, and Nixon Presidencies, plus Federal Agencies (ProQuest-HV) \*

ケネディからニクソンまでの大統領文書を中心に、1960年代-70年代の政治・経済・社会に関する資料を収録。

**The Black Freedom Struggle in the 20th Century (ProQuest-HV) \***

公民権運動を中心に、20世紀初頭から1990年代までのアフリカ系アメリカ人による権利闘争に関する資料を収録。政府・団体・個人文書が含まれる。

**The Nixon Years, 1969-1974 (Adam Matthew Digital) \***

ニクソン政権下での米英関係に関する資料を中心としたデータベース。イギリス国立公文書館所蔵。

**Loss of Public Trust and the Federal Bailout, 1989-1993 (Gale-AU) \* <NARA>**

貯蓄貸付組合危機に関する資料を収録。H.W. ブッシュ大統領図書館所蔵。

各図書館による電子化が進むにつれて、一箇所のアーカイブの資料に基づいたデータベースの場合、所収されている資料が今後無料で入手可能になる可能性や、すでに公開されている場合もある。なかでも議会図書館や国立公文書館所蔵の資料に関しては、その可能性が高いため、調査計画を立てる上で確認が必要である。

## 4. デジタル資料の管理

いざ収集したデジタル資料の適切な管理は、研究に活用する上での大前提である。一つは、正確な注記を行う上での書誌情報（メタデータ）の管理、もう一つは、自身が収集したデジタル資料のファイル自体（コンテンツファイル）を常に参照できる形で整理しておくという意味での管理であり、両者を一元化することが望ましい。

代表的な引用管理ソフトウェアとしてはEndNote、RefWorks、Zotero（無料）、Mendeley（無料）が挙げられる。これらはウェブブラウザと一体化（プラグイン）して作動することを前提としており、ジャーナルデータベースだけでなくデジタルアーカイブとの親和性も極めて高い。なかでも当初からブラウザFirefoxのプラグインとして開発されたZoteroは、種類を問わずデジタル資料の書誌情報をブラウザから即座に取り込む機能に優れている。現地

調査によって入手した資料の場合、注記では基本情報に加えてコレクション内でのフォルダ番号(名)・ボックス番号を「番地」として記すが、オンラインで入手した資料の場合、各文書に付された識別番号(ID)やアドレス、取得日がこれに相当する。こうした情報をソフトウェアが取りこぼすことは稀である。ただし、取り込んだデータから注や参考文献表を生成する際に、投稿・執筆先の求める方式と一致しない場合があるので、執筆時には注意しなければならない。また、これらのメタデータはあくまでも最小限のものであり、資料を読み込む過程では、自分自身でキーワードやタグを加えていくことで分類・検索性を高めることが必要である。

同時に、資料ファイルを迅速に参照できる環境を整えておくことが欠かせない。アーカイブでの調査でもデジタルカメラによる複写が一般的となっており、多数のファイルの管理は、オンラインで入手した資料、自身がデジタル化した資料に共通する課題である。近年、引用管理ソフトウェアの進化とウェブ環境の変化によって、書誌情報とコンテンツファイルの両者を一元的に管理することは容易になっている。引用管理ソフトウェアには書誌情報とコンテンツファイルを同一箇所に保存し、書誌情報と資料を同じ窓口から開くことができる機能が備わっている。こうした機能は以前から存在したが、ここ数年でオンライン(クラウド)ストレージサービスが低価格化したことで、容量や費用の制約が弱まり、無制限の倉庫を持つことが可能となった。自分だけのデジタルアーカイブと言えよう。ウェブ上に置くことで記録媒体の故障による資料喪失の危険はむしろ小さい。また、様々な機器からの同時接続が可能であり、保管した資料をタブレットの画面上で参照しながら、メモや執筆はPC上で行うといった使い方もできる。

## 5. むすびに

アナログ媒体での資料収集とデジタル媒体での資料収集には、それぞれの楽しみがある。たとえば前者では、フォルダがいっぱいに詰まったアーカイブボックスを前にして、一見「外れの」資料も含めた渉猟を行った果てに得られるコレクションの大きな文脈の理解である。一方、データベースでの検

索では、適切な検索条件を付すことで、個々のコレクションという枠組みを超えた資料の関係性が立ち現れる。それぞれの特性を踏まえた上での資料渉猟が必要となる。同時に、現代史の研究者にとっては、スクリーンを介したデジタル資料調査は、もはや好むと好まざるに関わらず避けて通れない。既に2007年、20の連邦政府機関によって、資料の永続的保存のため、デジタル化された文書 (digitized) ・そもそも電子的に作成された文書 (born digital) の形式やメタデータを統一するための指針が定められた<sup>17</sup>。そして、2022年には、連邦政府の諸機関から国立公文書館への新たな資料移管は全て電子媒体となる予定であり、当然利用者へも電子媒体でのみ公開されることになる<sup>18</sup>。溢れるデジタル資料の海に溺れることのない舵取りの腕を磨く必要がある。

## 註

<sup>1</sup> National Archives and Records Administration, *Strategic Plan for Fiscal Year 2014-2018* (Washington D.C.: NARA, March 2014), 5; NARA, *2018-2022 Strategic Plan* (Washington D.C.: NARA, February 2018), 6, February 23, 2018, <https://www.archives.gov/about/plans-reports/strategic-plan>.

<sup>2</sup> NARA, "Citizen Archivist Dashboard," accessed January 20, 2018, <https://www.archives.gov/citizen-archivist>.

<sup>3</sup> 阿部小涼「電子媒体による資料調査」五十嵐武士・油井大三郎編『アメリカ研究入門 第3版』(東京大学出版会, 2003年), 260-270頁; 梅崎透「アメリカ研究における電子データベースの利用とデジタル化の現在」『アメリカ太平洋研究』第6号(2006年): 309-318頁; 梅崎透「アメリカ史研究のデジタイズ——オンライン情報の活用のために」有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編『アメリカ史研究入門』(山川出版社, 2009年), 351-365頁。

<sup>4</sup> Library of Congress, "National Digital Library Program: Overview," accessed January 25, 2018, <https://memory.loc.gov/ammem/dli2/html/lcndlp.html>.

<sup>5</sup> Mark Hartsell, "First Drafts of History: Presidential Papers at the Library of Congress," May 11, 2017, <https://blogs.loc.gov/loc/2017/05/first-drafts-of-history-presidential-papers-at-the-library-of-congress/>.

<sup>6</sup> Library of Congress, "Library of Congress Leads Nationwide Digitization Effort," January 14, 2009, <https://www.loc.gov/item/prn-09-10/25000th-digitized-book/2009-01-14/>.

<sup>7</sup> 時実象一『デジタル・アーカイブの最前線——知識・文化・感性を消滅させないために』(講談社,

2015年), 117-122頁.

8. 時実『デジタル・アーカイブの最前線』, 117-114頁; 福井健策『誰が「知」を独占するのか——デジタルアーカイブ戦争』(集英社, 2014年), 172-188頁.

9. 時実『デジタル・アーカイブの最前線』, 164-167頁; Digital Public Library of America, “Hubs,” accessed December 12, 2017, <https://dp.la/info/hubs/#our-content-hubs>.

10. University of Michigan Library, “The OAIster Project,” July 1, 2016, <https://www.lib.umich.edu/digital-library-platform-services-dlps/oaister-project>.

11. Columbia University, “Research Guides,” accessed November 10, 2017, <http://guides.library.columbia.edu>; Cornell University Library, “Research Guides,” accessed November 11, 2017, <http://guides.library.cornell.edu>; Harvard Library, “Research Guides,” accessed November 30, 2017, <https://guides.library.harvard.edu>; Library of Congress, “E-Resources Online Catalog,” accessed November 10, 2017, <http://eresources.loc.gov>; Stanford University Libraries, “Databases,” accessed November 20, 2017, <https://searchworks.stanford.edu/databases>; University of California, Berkeley, “Library Research Guides, Subject Guides,” accessed December 11, 2017, <http://guides.lib.berkeley.edu/all-guides>; University of Chicago Library, “Research Guides,” accessed November 20, 2017, <http://guides.lib.uchicago.edu/subjectguides>; University of North Carolina Libraries, “E-Research by Discipline,” accessed November 20, 2017, <http://guides.lib.unc.edu/sb.php>; University of Texas Libraries, “Databases A-Z,” accessed November 20, 2017, <https://guides.lib.utexas.edu/az.php>; Yale University Library, “Research Guide,” accessed November 12, 2017, <https://guides.library.yale.edu/>.

12. 日本図書館協会図書館調査事業委員会編『日本の図書館——統計と名簿 2016』(日本図書館協会, 2017年), 237-309頁. 調査の対象とした研究機関は次の通りである。  
 国公立大学: 北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、大阪市立大学、神戸大学、広島大学、九州大学。私立大学: 慶應大学、上智大学、中央大学、日本大学、早稲田大学、南山大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学。なお、本来は上位10校に含まれる法政大学については、学外から契約データベースの種類が確認できないため除外し、アメリカ研究センターを持つ南山大学を含めた。

13. たとえば、エヴァンスコレクションの採択を提言した初期アメリカ学会「アメリカ系電子資料の基盤整備に関する声明」(2017年8月2日) Accessed December 20, 2017, <http://earlyamericanists.jp/>. アメリカ学会、日本アメリカ史学会も同様の声明を提出した。

14. 以下については、略号を用いた。NARA (アメリカ国立公文書館)、Gale (Gale Cengage Learning)、Gale-AU (Gale, Archives Unbound)、ProQuest-HV (ProQuest, History Vault)

15. 収録資料の年代順に掲載。

16. 収録資料の年代順に掲載。

17. Federal Agencies Digital Guidelines Initiative, “FADGI Guidelines,” accessed November 11, 2017, <http://www.digitizationguidelines.gov/>.

18. NARA, *2018-2022 Strategic Plan*, 10.